

代 表 者	経理責任者
 	

支 払 伝 票			経理番号	
			1	
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	調査研究費	金 額	3,334円	
内 容	小野市行政視察手土産代 (10月1日)			
支 払 先	株式会社春光堂	支払年月日	令和1年 10月 2日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

10/1
小野市

領 収 証

№ 91423

加古川市議会
女性笑顔で株と創陰と維新 殿

	百	拾	万	千	百	拾	円
金			7	3	3	3	4

収 入
印 紙

但 手土産代として

上記の通り正に領収致しました

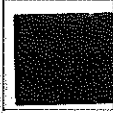
平成 1 年 10 月 2 日
令和

加古川市加古川町寺家町11-2

株式会社 春光堂

電話 (079) 423-1123 番(代)

取扱人認印





出張調査研修報告書

令和元年10月15日

市議会議長様

女性の笑顔で未来を創る会

会派名 と維新

出張者氏名

松植 厚人

落合 誠

鈴木 良子



印

印

下記のとおり報告します。

日程 令和元年10月1日～令和元年10月2日

視察先 小野市役所

視察（調査）事項

別紙

復命事項（所見及び感想）

別紙

出張に伴う経費の精算

前渡金額 0 円

精算額 0 円 過不足額 0 円

※報告者が議員の場合は、出張者氏名欄に記入のこと。

出張調査届

令和元年8月27日

市議会議長様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

代表者 柘植 厚人



このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

柘植 厚人、落合 誠、鰐木 良子

調査都市名及び調査内容

10月1日(火) 10:00~11:30 小野市

「男女協働参画推進について」

出張期間 令和元年10月1日(火)~令和元年10月1日(火)(1日間)

旅 費 内 訳	日 当	円	経 路
	()		
	宿 泊 料	円	
	()		
	鉄 道 賃	円	
	()		
	急行料金	円	
	()		
	航 空 賃	円	
	()		
	車 賃	円	加古川市役所 (自家用車) 小野市役所 以下復路
	()		
	船 賃	円	
	()		
出 席 者 負 担 金	出席者負担金	円	
	()		
	そ の 他	円	
	()		
	合 計	0 円	

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※自家用車による移動のため、旅費については政務活動費からの支出は行わない。

別紙

柘植 厚人
落合 誠
鏑木 良子

小野市視察調査研修報告書

第1 視察（調査）項目

我が国は20年以上経済成長が停滞し、国際社会における存在感の低下が著しい。その理由の一つは米国の豊かさにあこがれ、その社会システムを模倣して男性の政治家や、企業戦士が中心となり、がむしゃらに努力していれば年々経済成長する時代が終わったことにあると考える。

また昨今の気候の極端化からも、人間の無限の経済成長に対する欲望に、地球環境が耐えられなくなってきたと考える。つまりこれまでにない新しい価値観を確立する必要がある。この意味で女性的な、慈愛と母性本能に基づく、しなやかで柔軟な感性が求められる時代であると考えます。

これからは他の模倣、追従ではない新しい価値や豊かさを創造する必要がある。つまり男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担う、男女共同参画社会の実現が求められている。

小野市は2010年の市議会議員18名中女性議員は0名であった。しかし男女共同参画に関する様々な取組と相まって、2019年には市議会議員16名中7名の女性議員が誕生した。女性議員比率43.8%という兵庫県下でトップの実績を出した小野市において、男女共同参画推進事業の取組みに関して視察させていただいた。

第2 復命事項（所見及び感想）

1 小野市男女共同参画推進の歴史について。

1999年に国が、男女共同参画社会基本法を施行した。これを受けて小野市では、2002年に「はーとシッププラン」（小野市男女共同参画計画）を策定するとともに、小野市男女共同参画社会推進条例を制定した。この条例制定は兵庫県下二番目の迅速な対応であった。

さらに2004年には男女共同参画事業をNPO法人北播磨市民活動支援センターに委託した。これはこの事業を民間の知恵や創意工夫により進めていくべきという理念に基づくも

のと思われる。

今回の視察で、NPO 法人北播磨市民活動支援センターの理事マネージャーの方から直接お話を聞かせていただき、この理念が 15 年経過した現在においてもしっかり継承されていることを感じた。彼女はユーモアを交えながら話しながらも、男女共同参画推進に関する明確な意思と使命感を持っておられることが伝わってきた。

彼女は小野市男女共同参画センターのセンター長も務められておられる。この組織は小野市から独立した民間組織である。彼女は、小野市の担当者との志高い意識の連携の大切さを強調しておられた。市の担当者が新しい取組に対してできない理由やリスクばかり指摘するようでは、男女共同参画推進という社会変革を起こすことは困難であろう。現在の小野市の担当者様のプレゼン時の真摯な態度から、小野市担当者と小野市男女共同参画センターのセンター長との間には、この高いレベルの連携や信頼関係が構築されているように見受けられた。

2 おのウィメンズ・チャレンジ塾について

おのウィメンズ・チャレンジ塾は女性議会を開催している。この模擬体験により市政への関心を高め、政策や方針決定の場への女性の参画を推進している。またそれにとどまらず、まちづくり等に関する女性の意見や提案を市政に反映している。

同塾は 2010 年度から 2019 年度までにのべ 161 名が参加し、そのうち 3 名が実際に小野市市議会議員選挙に立候補し当選するという成果を出した。

これら 3 名の方々は、何度も繰り返し女性議会に参加して、子育て支援など身近で切実な問題に関して、市長、副市長、教育長、各部長等の答弁を求めらる中で、質問能力を磨くとともに、主権者としての自覚を深めたものと思われる。そして現実の市議会議員選挙への立候補を志したものとする。

確かにこの試みは市長、副市長、教育長、各部長や市の各担当職員にとって決して軽い負担ではないと考える。しかし、その効果は上記のように証明されている。したがって期限や回数を区切るなどして理事者等の負担を限定的することにより、加古川市においても女性議会開催を検討していただきたい。

3 自治会女性役員参画推進事業補助金について

小野市は 2013 年から 2015 年にかけて女性の役員を継続登用する自治会へ 3 年間限定の奨励補助金制度を実施した。これにより 55.6%の自治会において女性役員が誕生した。補助金制度と合わせて、仕事や家事、育児等で多忙な女性が継続的に自治会の役員を引き受けられるように、役員の負担が軽減される仕組み作りが必要であるとする。具体的には、今回の視察でいただいた資料にあるように行事や会議出席に関して複数の役員間で分担制度を導入すること等が考えられる。

4 は一と・シップについて。

は一と・シップとは、小野市男女共同参画情報誌の名称である。

税金を使ってこの情報誌を作成していることから、男女共同参画推進に関して小野市をどのように導いていきたいのかを示すものにしようとの強い使命感と明確な意志を持って編集されていることがその充実した内容からうかがえる。

5 最後に

- (1) 今回の視察において、市担当者のプレゼンに同席された女性の小野市議会議員は約20年前に神戸市から小野市に引っ越ししてこられた。彼女はまず小野市のことを知りたいと思い、小野ウィメンズ・チャレンジ塾に参加し、次に市議会の傍聴をすることにより市政に対する興味を深めていかれた。小野市は、傍聴人名簿に氏名住所を記載した市民の方々に再度の傍聴を促すべく、次の議会における各議員の一般質問のタイトル等を記載した手紙を送付しているとのことである。

やがて小野ウィメンズ・チャレンジ塾から二名の女性議員が誕生した。この二名の議員や周囲の人々から、繰り返し立候補を進められる中で彼女は徐々に立候補の決意を固められたとのことである。

この逸話は加古川市においても非常に参考になると感じた。日々の生活や政治に不安不満をお持ちの女性に、一歩踏出す勇気を持ち、立候補の決断をしていただくためには、①市政に対する興味を持っていただく仕組みを作ること、②その仕組みに参加くださった女性に継続的に働きかけを行うことが肝要である。

- (2) 今回の視察においては、小野市市民安全部ヒューマンライフグループ副主幹様と、小野市男女共同参画センターのセンター長様が丁寧かつ的確なプレゼンをしてくださった。そのプレゼンを4名の小野市の新人議員の方々が壁際で椅子に座り聞いておられたのが印象に残った。

行政視察のプレゼンは担当者自身の研鑽の場であるのみならず、議員にとって自己が所属する自治体の取組みについて丁寧に基本から学ぶ良い機会である。したがって加古川市においても、他の自治体議員の行政視察を受け入れる際には、その日時と内容をあらかじめ加古川市議会議員各位に告知し、任意の参加を認めてはいかがであろうか。これにより市議が加古川市の魅力や課題を客観的に把握し、より効果的に市政に貢献できるようになると考える。

以上

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			2
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	調査研究費	金 額	107,430円
内 容	富山県庁「人と環境にやさしい農業推進プラン」について視察 「有機・エコ農業パワーアップ協議会」について視察 福井市「キャリア教育」について視察 「学校の教職員等に関する相談窓口」について視察		
支 払 先	JR 等	支払年月日	令和1年 10月 15日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

出張調査届

令和元年8月16日

市議会議長様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

代表者 柘植 厚人

このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

柘植 厚人、落合 誠、鏑木 良子

調査都市名及び調査内容

10月15日(火) 13:30~15:00 富山県庁(富山県富山市新総曲輪1番7号)

①「とやま『人』と『環境』にやさしい農業推進プランについて」

②「とやま有機・エコ農業パワーアップ協議会について」

10月16日(水) 13:30~15:30 福井市(福井県福井市大手3丁目10番1号)

①「キャリア教育について」

②「学校の教職員等に関する相談窓口について」

出張期間 令和元年10月15日(火)~令和元年10月16日(水)(2日間)

旅 費 内 訳	日 当	円	経 路
	()		
	宿泊料 (14,000円)	14,000 円	
	鉄 道 賃 ((5,620円+1,220円+200円+200円+ 1,220円+1,320円) +4,750円)	14,530 円	
	急行料金 ((2,900円+1,700円) +2,680円)	7,280 円	
	航 空 賃 ()	円	
	車 賃 ()	円	
	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 ()	円	
	そ の 他 ()	円	
	合 計	35,810 円	

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※35,810円×3人=107,430円

視察行程表

令和元年 10 月 15 日（火）～16 日（水）

【10 月 15 日（火）】

加古川駅 7:03 発 －（JR）－ 8:01 着 大阪駅 8:10 発 －（JR 特急サンダーバード 7 号）－
11:02 着 金沢駅 11:07 発 －（IR いしかわ鉄道）－ 12:04 着 富山駅 －（徒歩）－
富山駅 12:13 発 －（富山地方鉄道）－ 12:16 着 県庁前駅 －（昼食及び徒歩）－ 富山県庁

【富山県 行政視察】

13:30～15:00 「とやま『人』と『環境』にやさしい農業推進プランについて」
「とやま有機・エコ農業パワーアップ協議会について」

富山県議会事務局 （TEL: 076-444-3405）

富山県庁 －（徒歩）－ 県庁前駅 16:17 発 －（富山地方鉄道）－ 16:26 着 富山駅 －（徒歩）－
富山駅 16:42 発 －（あいの風とやま鉄道）－ 17:42 着 金沢駅 17:48 発 －（JR 特急しさらぎ 64
号）－ 18:36 着 福井駅 －（徒歩）－ 宿泊先

（ 宿 泊 ）

【10 月 16 日（水）】

宿泊先 －（徒歩）－ 福井市役所

【福井市 行政視察】

13:30～15:30 「キャリア教育について」
「学校の教職員等に関する相談窓口について」

福井市議会事務局 （TEL: 0776-20-5506）

福井市役所 －（徒歩）－ 福井駅 16:08 発 －（JR 特急サンダーバード 32 号）－ 18:09 着 大阪
駅 18:15 発 －（JR）－ 19:09 着 加古川駅



出張調査研修報告書

令和元年12月4日

市議会議長様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

出張者氏名 板植 厚人

落合 誠

鈴木 良子

印

印

下記のとおり報告します。

日程 令和元年10月15日～令和元年10月16日

視察先 富山県庁 福井市

視察（調査）事項

富山県庁の「とやま人と環境にやさしい農業推進プラン」について、②とやま有機・エコ農業パワーアップ協議会について、福井市のキャリア教育について、③学校の教職員等に関する相談窓口について。

復命事項（所見及び感想）

別紙

出張に伴う経費の精算

前渡金額 107,430 円

精算額 107,430 円 過不足額 0 円

※報告者が議員の場合は、出張者氏名欄に記入のこと。

視察報告書

日 程	令和元年 10 月 15 日(火)
視 察 先	富山県庁
テ ー マ	① とやま『人』と『環境』にやさしい農業推進プランについて ② とやま・有機・エコ農業パワーアップ協議会について
報 告 所	1. 持続性の高い高品質な農産物の生産拡大の為、富山県では、 『人』と『環境』に優しい農業推進プランを策定 2. 経緯については、議員提案による「富山県適正農業規範に基づく農業推進条例」 が、平成 22 年 12 月に成立したことから、県は全国初の「環境の保全」「農産物の 安全」「農業者の安全」の確保を目的とした適正な農業生産活動を推進するため に条例を策定した。 3. プラン策定の趣旨の中で、条例の趣旨を踏まえた 3 つの柱を明確にした。 ① 環境の保全＝環境に優しい ② 農産物の安全＝食の安全⇒消費者(人)に優しい ③ 農業者の安全＝農作業事故防止⇒農業者(人)に優しい 4. 目標として、エコファーマー延べ認定者数 4,000 名に対して現在 3,279 名 有機農業の推進体制を整備した市町村割合は、50%に対して、33% 有機・特別栽培農産物栽培面積 1,200ha に対して、1,035ha 有機農業の取組面積 250ha に対して、194ha 5. 環境に優しい農業や適性な富山県環境にやさしい農業・適正農業推進協議会 6. 関わる方々協議会委員、並びに専門員、農業関係者 30 名 7. 平成 30 年度の活動内容、取組については、 ・有機農産物の PR 活動(「越中とやま食の王国フェスタ」で有機農産物などの販 売と、PR 活動を実施) ・消費者との交流促進(県内スーパーと連携し、生産者と消費者による交流活動 や、自然環境などに関心のある親子を対象に生き物調査やエコファーマー農産 物の現地見学などができるエコ農業探検ツアーなど 8. 県内有機農業者等と直売所、飲食店の意見交換を行う機会、 販路拡大に向けた勉強会などを実施 (所感)農業推進プランを基に、組織をまとめ協議会を立ち上げ、積極的な活動をされ ている事は素晴らしいと感じた。食のイベント、また生態系についても子供たちが自然 に触れる機会など、心身の成長に非常に良い取り組みである。 一方、有機野菜等 PR 活動も積極的に行っているが、お話を伺うと、やはりオーガニッ クやエコ農業の現状は大きな広がりには至っておらず、安定した供給を確立する事は まだまだ難しい現状であると感じた。 今後、これらを参考にしながら加古川で新たな視点を含めて取り組んで行きたい。

【福井市視察報告書別紙】

柘植 厚人
鏑木 良子
落合 誠

キャリア教育についてと学校の教職員等に関する相談窓口についてを視察してきました。

まず、福井市キャリア教育連絡協議会について説明がありました。市内の各種経済団体、企業等と福井市教育委員会、行政が子どもたちの夢や希望をもち、将来に社会人として自立することができるようにキャリア教育を推進しているものです。

福井市は、経済団体と教育委員会が連携していることが素晴らしく、更に、協議会として活動ができていることが素晴らしいです。

そして、平成 28 年度からは、キャリア教育コーディネーターを委嘱していることによりさらなる進化をしていると思われます。

キャリア教育連絡協議会は、年に 4 回会議をもっており、JC の OB が実施している「ふくいの担い手づくりプロジェクト」は、キャリア教育アワードで賞をいただき、商工会議所青年部が開催する「アントレ・キッズ」も平成 24 年にキャリア教育アワード最優秀賞をいただいています。

キャリア教育コーディネーターは、年間 113 万円程度の予算で 210 件の出前講座を行っています。

出前講座には、29 の事業項目があり、学校の希望の項目と実施時期をキャリア教育コーディネーターが調整して開催しています。

福井市では、経済界が先進的なキャリア教育事業を早い段階から提案実施しており、また、教育委員会とも全国的には珍しい連携体制を確立できていることが、子どもたちの教育環境の整備にも重要と思われます。

さらに、教育委員会の教育ビジョンでも地域が協力することは当然ですが、企業も協力体制に記載されていることも先進的であります。

そして、福井市キャリア教育連絡協議会も最優秀賞をいただき、昨年度には、キャリア教育コーディネーター全国大会も福井市で行われており、キャリア教育の小中学生への活動が進化して行っています。加古川市においても小学生へのキャリア教育を推進していく必要があると考えますし、経済団体と教育委員会が連携することは大変重要であります。

兵庫県では、中学 2 年生で「トライやるウィーク」がありますが、小学生の時から仕事とはどんなものか?や仕事にはどんなものがあるかなどを体験することから「自分の将来像やなりたい職業を創造することから、今すべきことなどを考えたり、生きることの重要性などに気付く事」も必要と考えられ、加古川市でも全小学校で高学年(6 年生が理想)での職業の体験や職業人からのお話を聞くことは、大変重要であると考えます。また、職業人として協力して頂く方は、できる限り校区内を優先することで、日常での接点ができたり、トライやるウィークとの連携した形での教育体制の確立が見込めると考えられます。

そのためには、教育委員会で小学校でのキャリア教育の担当者を設置して、各学校が実施しやすい体制作りが、まず、必要と思われます。

次に相談窓口の設置については、以前から相談窓口はありましたが、ホームページなどで公表していないことに気付き、電話番号等を記載することにしたそうです。

結果として、匿名での相談等もあり、公表した事には、意味があったとのことでした。より多くの情報を収集することと、早期の問題などへの気づきには、相談窓口の公表は、重要であり、加古川市でも早期に取り入れることで、問題を未然に防ぐ体制を確立してほしいものです。

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				3
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	調査研究費	金 額	6,668円	
内 容	富山県庁・福井市行政視察手土産代 (10月14日) (10月16日)			
支 払 先	株式会社春光堂	支払年月日	令和1年 10月 29日 	
備 考	出席者負担金振込手数料152円含む 			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

領 収 証

№ 91427

加古川市議会

お金の笑顔で未来を創る会と新 殿

	百	拾	万	千	百	拾	円
金			4	6	6	6	8

但 手 土 産 代 として

上記の通り正に領収致しました

平成 1 年 10 月 29 日
令和

加古川市加古川町寺家町11-2

株式会社

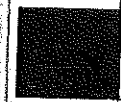
春光堂

電話 (079) 423-1123 番 (代)

収 入

印 紙

取扱人認印



10/15
富山県庁

10/16
福井市

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				4
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	調査研究費	金 額	3,080円	
内 容	神戸市「子どもの居場所づくり事業」について行政視察			
支 払 先	JR 	支払年月日	令和1年 11月 5日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

出張調査届

令和元年10月23日

市議会議長様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

代表者 柘植 厚人



このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

柘植 厚人、落合 誠

調査都市名及び調査内容

11月5日(火) 13:30~15:00 神戸市

「子どもの居場所づくり事業について」

(神戸市役所 神戸市中央区加納町6丁目5番1号)

出張期間

令和元年11月5日(火)~令和元年11月5日(火)(1日間)

旅 費 内 訳	日 当 ()	円	経 路	
	宿 泊 料 ()	円	加古川駅	
	鉄 道 賃 (770円×2)	1,540 円	(徒歩)	三ノ宮駅
	急行料金 ()	円	神戸市役所	
	航 空 賃 ()	円	以下復路	
	車 賃 ()	円		
	船 賃 ()	円		
	出席者負担金 ()	円		
	そ の 他 ()	円		
	合 計	1,540 円		

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※1,540円×2名=3,080円

代表者印



出張調査研修報告書

令和 元年 11月 20日

市議会議長様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

出張者氏名 柘植 厚人

落合 誠



下記のとおり報告します。

日 程 令和 元年 11月 5日 (火)

視 察 先 神戸市役所

研修事項

「子どもの居場所づくり事業について」

復命事項 (所見及び感想)

詳細は別紙にて

出張に伴う経費の精算

前 渡 金 額 3,080 円

精 算 額 3,080 円 過 不 足 額 0 円

神戸市役所【子どもの居場所づくり事業について】報告書別紙

報告者 柘植 厚人

落合 誠

■日程:令和元年 11 月 5 日(火)13:15~14:35

■視察先:神戸市役所

■視察事項:「子どもの居場所づくり事業」について

■視察対応者:こども家庭局 こども青少年課 課長・係長・係り の3名

■復命事項(所見及び感想)

まず背景として、厚生労働省の「国民生活基礎調査」では、平成 27 年度のひとり親家庭での貧困率は、50.8%であり、神戸市においてもひとり親家庭世帯及び共働き世帯ともに増加していた。

そこで、子どもたちの育ちを身近な地域で支援することを目的として、ひとり親家庭や共働き家庭で夜遅くまでひとりで過ごすなどといった課題を抱える子どもたちが、放課後等に食事、学習、団らんなどを通して安心して過ごすことができる「子どもの居場所づくり」が必要であると補助金を平成 28 年度からスタートして、当初 16 団体であったものが 37 団体まで広がっています。

神戸市としての目標は、50 箇所まで広げたいという事でした。

この補助金は、月に 2 回以上、児童がおおむね 10 名以上利用が見込めるものに対して補助しているとの事で、「食事を調理し提供」「学習支援」の 2 種類の内容があり、両方とも実施している所が多いそうです。補助内容は、20 万円から 70 万円まで実施回数により違いがあるそうで、初年度のみ 5 万円の備品購入費も補助されるそうです。

実施団体は、個人が実施したいと立ち上げた会から、フリースクール運営者(運営時間外に開催)や認知症カフェの開催者・地域のコミュニティ運営者・大学とタイアップしての実施者など様々な団体が運営しているそうで、学習面では、大学生や教師 OB などが有償ボランティアなどで学習面をサポートしているそうです。当初は、年に一回の募集であったが、現在は、年度途中からのスタート団体にも考慮して、年に 3 回の募集を行っているとのことでした。また、長期休暇時のみ実施する団体も対象として、幅広い面でのサポートにつなげているとの事でした。

神戸市では、子ども食堂と言わず、子どもの居場所の食事提供の場として、子どもを特定することなく実施しているそうです。また、参加者も年々増加しているとの事で、この事業の認知度もアップしていったとの事でした。

各団体のコーディネートは、市社協の児童館に配置されている子育てコーディネーターにより、各団体の連携や立上げ、運営等のサポートを行っているとの事でした。

市の補助金対象外である団体も多くあり、子どもの居場所としては、現在 95 団体が実施しているとの事でした。

そして、今後の展開としては、JA 兵庫六甲と連携した食材の提供の取り組みもスタートしており、青果等の食材が廃棄されるのを「フードロスの削減」という事も含めて市として働きかけを行っており、食材の提供にもマッチングによる課題解決を図るモデル事業として実施しているとの事でした。

加古川市においても、子どもの居場所を各地域・各小学校区内に設置することは重要であり、地域の皆様などが運営を行うための補助金制度の実施と食材の提供や立上げを支援する体制作りなども行い、やりたい人をサポートする体制作りを早急に行わなければならないと考えます。

また、青果などの賞味期限が短い食材の提供を支援する体制やシステム作りは、行政等が行わないと各団体では、なかなか難しいものであると思われますので、先進的な取組みを行っている市町村を早急に調査して実施して欲しいものです。

以上

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			5
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	調査研究費	金 額	3,334円
内 容	神戸市行政視察手土産代 (11月5日)		
支 払 先	株式会社春光堂	支払年月日	令和1年 12月 9日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

11/5

神戸市

領 収 証

№ 91428

加古川市議会
女性の笑顔で未来を創る会と維新 殿

	百	拾	万	千	百	拾	円
金			4	3	3	3	4

収 入

印 紙

但 全土産物として

上記の通り正に領収致しました

平成 1 年 12 月 9 日
令和

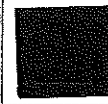
加古川市加古川町寺家町11-2

株式会社

春光堂

電話 (079) 423-1123 番(代)

取扱人認印



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				6
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	調査研究費	金 額	23,880  74,880 23,880円	
内 容	上勝町「ゼロ・ウェイスト運動」について行政視察 「行政から見た街づくり」について行政視察			
支 払 先	JR 等	支払年月日	令和1年 12月 20日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

領 収 証

カラス川市議会

様

No. _____

女性の笑顔で未来を創る会と維新

★

¥ 6,000-

但

視察資料代として

令和元年 12 月 20 日 上記正に領収いたしました

内訳

税率	金額(税抜税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜税込)
%	消費税額等

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

〒771-4501

徳島県勝浦郡上勝町大字福原字川北4番地

合同会社 パンゲア

代表社員 野々山 聡



出張調査届

令和 元 年 12 月 2 日

市 議 会 議 長 様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

代表者 柘植 厚人



このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

落合 誠、罇木 良子

調査都市名及び調査内容

徳島県勝浦郡上勝町

(視察場所：月ヶ谷温泉村キャンプ場内セミナールーム 徳島県勝浦郡上勝町大字福原字川北4)

12月20日(金) 13:45~16:30 「ゼロ・ウェイスト運動について」

「行政から見た街づくりについて」

出張期間 令和元年12月20日(金)~令和元年12月20日(金)(1日間)

旅 費 内 訳	日 当	円	経 路
	()		
	宿 泊 料	円	
	()		
	鉄 道 賃	840 円	
	(420円×2)		
	急行料金	円	
	()		
	航 空 賃	円	
	()		
内 訳	車 賃	8,100 円	別紙のとおり
	((2,790円+860円+400円)×2)		
	船 賃	円	
	()		
内 訳	出席者負担金	3,000 円	
	(2,000円 + 1,000円※1)		
内 訳	そ の 他	円	
	()		
内 訳	合 計	11,940 円	

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※高速バス料金は往復割引により6,200円→5,580円

※※1はゼロ・ウェイストアカデミースタッフによる詳細説明にかかる費用(2名まで2,000円/回のうち1名分)

※11,940円×2名=23,880円

視察行程表

令和元年 12 月 20 日 (金)

【 往路 】

加古川駅 8:36 ⇒ (JR) ⇒ 8:45 西明石駅 8:50 ⇒ (JR) ⇒ 8:58 舞子駅 ⇒ (徒歩)
⇒ 高速舞子 9:10 ⇒ (高速バス) ⇒ 10:33 徳島駅前 ⇒ (徒歩) ⇒ 徳島駅前
11:00 ⇒ (徳島バス・勝浦線) ⇒ 12:10 横瀬西 12:45 ⇒ (上勝町営バス) ⇒ 13:18
温泉入口 ⇒ (徒歩) ⇒ (会場) 月ヶ谷温泉村キャンプ場

【 上勝町行政視察 】

13:45~16:30 ・ゼロ・ウェイスト運動について
 ・行政から見た街づくりについて

合同会社パンゲア (TEL: 0885-46-0371)

(徳島県上勝町大字福原字川北4 月ヶ谷温泉村キャンプ場内)

※視察は町から視察全般の業務委託を受けている事業者の
セミナールームにて行う。

【 復路 】

(会場) 月ヶ谷温泉村キャンプ場 ⇒ (徒歩) ⇒ 温泉入口 17:17 ⇒ (上勝町営バ
ス) ⇒ 17:41 横瀬西 18:56 ⇒ (徳島バス・勝浦線) ⇒ 20:01 徳島駅前 ⇒ (徒歩)
⇒ 徳島駅前 20:30 ⇒ (高速バス) ⇒ 21:50 高速舞子 ⇒ (徒歩) ⇒ 舞子駅 22:12 ⇒
(JR) ⇒ 22:37 加古川駅



出張調査研修報告書

令和 元年 12月 24日

市議会議長様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

出張者氏名 鏑木 良子



落合 誠



下記のとおり報告します。

日程 令和 元年 12月 20日 (金)

視察先 上勝町

研修事項

「ゼロ・ウェイスト運動について」

「行政から見たまちづくりについて」

復命事項 (所見及び感想)

詳細は別紙にて

出張に伴う経費の精算

前渡金額 23,880 円

精算額 23,880 円 過不足額 0 円

上勝町視察報告書別紙

【視察月日】令和元年 12 月 20 日(金)

【視察項目】・「ゼロ・ウェイスト運動について」
・「行政から見たまちづくりについて」

【報告者名】・鏑木 良子 ・落合 誠

【視察対応者】・副町長・産業課主事補・委託先担当者

【復命事項】まず取組み全般についての以下の説明がありました。

町の将来像「人口定住」「環境保存」「経済・雇用」を重点に持続可能な地域社会づくりを目標とするとのこと。特に人口がピーク時 6263 人だったのが、現在、1545 人と減少しており、移住促進に取り組んでおり、また、高齢化率が 51.9%と高いため、「高齢者等の安心安全見守り事業」を実施しているとのこと。

次に「葉っぱビジネス」は、2 億 6 千万円まで成長しており、高齢者の特に女性のやりがいにつながっています。

1Q運動会という、地域の課題解決するための事業を行っており、各地域の問題解決に地域がしっかりと取り組むものとなっているそうです。更に、各地域によりレベル等の格差が出てきているので、行政としては、取り残されそうな地域を支援するように考えています。

ここまでの説明をお伺いし、危機感を持って役所職員と地域住民がアイデアを出し合いながら真剣に取り組んでいることがひしひしと感じました。

次に、「ゼロ・ウェイスト運動」についてですが、1997 年までは、燃えるごみを野焼きでごみ処理しており、県から再三指導を受けており、1998 年に小型の焼却炉を購入し対応しておりましたが、ダイオキシン類対策特別処置法により、1 つの焼却炉が不適合と判明し、焼却から大きな転換をし【ゼロ・ウェイスト】宣言を行い、実行しています。

生ごみは、各家庭で堆肥化を行っています。資源ごみは、町内 1 箇所資源ごみを持ち込んでいただき分別して頂いています。

また、「くるくるショップ」「くるくる工房」「くるくる食器」など、「リユース」「リデュース」「リサイクル」にもしっかりと取り組むことでごみ量の減量に取り組んでいます。

現在のごみ処理費用は、年間 5 9 3 万円で、同じごみ量を燃やすことで対応していたら 1 4 7 0 万円かかるそうです。また、分別にした資源の売却で約 2 1 3 万円程度の売上があるそうで、資源を分別して頂いた町民に還元すべく「ちりつもポイントサービス」を実施しており、町民も楽しみながら分別の協力をしているように感じました。

ちょっとした知恵からでも始めることは、重要であると実感しました。そして、ごみのそもそもは、出さない事なので、「リデュース」に力を注いでいるそうです。「ノーレジ袋キャンペーン」「量り売り」「布おむつ」等のリデュースに取り組んでいるそうです。

さらに、現在は、ゼロ・ウェイストセンターを建設中で、令和 2 年 4 月から「ゼロ・ウェイストの発信拠点」としていくそうです。

加古川市においてもごみの減量施策は、大変重要であり、世界環境を考えるにおいても自然環境を持続させることができるようにするためにも、分別の種類を増やし、少しでも焼却や埋め立てるごみを減らすことを、率先して取り組むべきことだと考えます。

多くの施策を連携させて、持続可能な社会にしていきたいと思います。

最後に、説明して頂いた職員が危機感を持ちながら、それぞれの事業に取り組んでおり、加古川市でも若い職員がしっかりと各施策を立案し、計画を実行できるような体制作りを確立し、職員から、みなぎるやる気を感じるようにして頂きたいです。

以上

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号	
				7	
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度		
項 目	調査研究費	金 額	2,527円		
内 容	上勝町行政視察手土産代 (12月20日)				
支 払 先	株式会社春光堂	支払年月日	令和1年 12月 17日		
備 考					
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）					

12/20

上勝町

領 収 証

No 095955

加古川市議会

女性政策課で来会館と熊新 殿

金	百	拾	万	千	百	拾	円
				2	5	2	7

収 入

印 紙

但 手土産代として

上記の通り正に領収致した

1 年 12 月 17 日

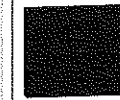
加古川市加古川町寺家町11-2

株式会社

春光堂

電話 (079) 423-1123 番(代)

取扱人認印



				代 表 者	経理責任者

支 払 伝 票				経理番号	
				8	
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度		
項 目	研修費	金 額	 30,230円 74,460		
内 容	「ミツバチと食のフォーラム」				
支 払 先	JR 等	支払年月日	令和1年 10月 5日		
備 考	出席者負担金2000円は、 ^{それぞれ} 個人負担としました。				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）					

出張調査届			
令和元年9月30日			
市議会議長様			
会派名 <u>女性の笑顔で未来を創る会と維新</u> 代表者 <u>柘植 厚人</u>			
このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。			
出張者氏名 柘植 厚人			
調査都市名及び調査内容 Foods for Children「ミツバチと食のフォーラム」(大妻女子大学(東京都千代田区三番町12番地)) 10月5日(土) 16:00~17:30 講演 「買い物は投票なんだ」他 10月6日(日) 13:00~17:00 木村秋則・船橋康貴<基調対談>他			
出張期間 令和元年10月5日(土)~令和元年10月6日(日)(2日間)			
旅 費 内 訳	日 当 ()	円	別紙のとおり
	宿 泊 料 ()	円	
	鉄 道 賃 (8,810円+170円)×2	17,960 円	
	急 行 料 金 (5,920円+6,350円)	12,270 円	
	航 空 賃 ()	円	
	車 賃 ()	円	
	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 (2,000円)	2,000 円	
	そ の 他 ()	円	
	合 計		

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※往復割引適用後の運賃 9,790円×0.9=8,810円(10円未満切捨て)

※実家へ宿泊予定のため、宿泊料は支出しない。

出張調査届

令和元年9月30日

市議会議長様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

代表者 柘植 厚人



このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

落合 誠

調査都市名及び調査内容

Foods for Children「ミツバチと食のフォーラム」(大妻女子大学(東京都千代田区三番町12番地))

10月5日(土) 16:00~17:30 講演 「買い物は投票なんだ」他

10月6日(日) 13:00~17:00 木村秋則・船橋康貴<基調対談>他

出張期間 令和元年10月5日(土)~令和元年10月6日(日)(2日間)

旅 費 内 訳	日 当 ()	円	経 路
	宿 泊 料 (14,000円)	14,000 円	
旅 費	鉄 道 賃 ((8,810+170) ×2)	17,960 円	別紙のとおり
	急行料金 (5,920円+6,350円)	12,270 円	
内	航 空 賃 ()	円	
	車 賃 ()	円	
訳	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 (2,000円)	2,000 円	
	そ の 他 ()	円	
	合 計	46,230 円	

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※往復割引適用後の運賃 9,790円×0.9=8,810円(10円未満切捨て)

行程表

令和元年10月5日(土)～6日(日)

【10月5日(土)】(往路)

加古川駅 10:54 発 — (JR 神戸線) — 11:10 着 西明石駅 11:20 発 — (新幹線ひかり 466 号) —
14:33 着 品川駅 14:49 発 — (JR 山手線) — 15:01 着 渋谷駅 15:12 発 — (東京メトロ) —
15:21 着 半蔵門駅 — (徒歩) — 大妻女子大学

(フォーラム会場)

【宿泊】

【10月6日(日)】(復路)

大妻女子大学 — (徒歩) — 半蔵門駅 17:51 発 — (東京メトロ) — 18:00 着 渋谷駅 18:08 発
— (JR 山手線) — 18:20 着 品川駅 18:37 発 — (新幹線のぞみ 123 号) — 21:17 着 新神戸駅 —
21:22 発 — (新幹線こだま 765 号) — 21:31 着 西明石駅 21:44 発 — (JR 神戸線) —
21:54 着 加古川駅



出張調査研修報告書

令和元年10月29日

市議会議長様

女性の笑顔で未来を創る会

会派名 維新

出張者氏名

板植 厚人

印

印

印

印

下記のとおり報告します。

日程 令和元年10月5日～令和元年10月6日

視察先 東京都千代田区大妻女子大学

視察(調査)事項

別紙

復命事項(所見及び感想)

別紙

出張に伴う経費の精算

前渡金額 32,230 円

精算額 30,230 円 過不足額 -2,000 円

※報告者が議員の場合は、出張者氏名欄に記入のこと。

出席者負担金は、自己負担で参加することとした。



出張調査研修報告書

令和 元年 10月 25 日

市 議 会 議 長 様

会 派 名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

出張者氏名 落合 誠



印

印

下記のとおり報告します。

日 程 令和 元年 10月 5日 (土) ～ 10月 6日 (日)

視 察 先 大妻女子大学 (東京都千代田区三番町12番地)

研修事項

ミツバチと食のフォーラムについて

復命事項 (所見及び感想)

別紙にて

出張に伴う経費の精算

前 渡 金 額 46,230 円

精 算 額 44,230 円 過 不 足 額 - 2,000 円

出席者負担金は、個人で負担することに自主的に変更しました。

第1 視察（調査）事項

地球環境問題、安全な農業、安全な食事、子ども達の健全な心身の発達などすべては密接につながっている。そのことを理解し、加古川市政に反映するにはどうすればよいのかを学ぶために、令和元年10月5日と6日に大妻女子大学千代田キャンパスにおいて、第1回ミツバチと食のフォーラムに参加させていただいた。

第2 復命事項（所見及び感想）

1 藤原ひろのぶ氏の講演 タイトル「買い物は投票なんだ」

(1) 藤原ひろのぶ氏はギニア、ネパール、バングラデシュで現地雇用を創出するため製氷事業、羊の飼育、スラム街における食事の提供等を展開されておられる。

彼の講演で特に感銘を受けたのは以下の点である。

- ・ビジネスは本来ソーシャルであるべき。つまり利他の心でなされるビジネスこそ、本物のビジネスである。
- ・地球環境問題を解決するために人類に残された時間はさほど長くない。
- ・消費行動など、人類社会のありかたを抜本から見直すことが必要な時期に来ている。
- ・おかしいことはおかしいという。周囲の人々を見て誰も声を上げていないから黙るということはもうやめる。
- ・食べられるのに捨てられる食品「食品ロス」の量は、我が国だけでも年間643万トン。
- ・タイ米騒動。米の不作を理由としてタイから大量の米を輸入した日本人はまずいと言ってコメを大量廃棄した。一方輸出国であるタイでは米価が上がり餓死者が出た。このように我々一人一人の思考や消費行動は世界と密接につながっている。
- ・日米など先進国では、珈琲豆1キログラムで70杯の珈琲を抽出販売し、約27000円売り上げている。この1キログラムの珈琲豆はエチオピア珈琲農家から約8円で購入している。これは完全な搾取である。
- ・そもそもフェアなトレードは当たり前のこと
- ・「駅員につばを吐かないでください。暴力は犯罪です」とのポスターが駅構内に貼付されている。そんな当たり前のことすら注意しないといけなくなった現代の日本人は、感覚がマヒしている。
- ・先進国の豊かな生活を支えているのは開発途上国の過酷な労働である。
- ・貧困から抜け出せない人々は、怠惰が原因か。働いても、働いても抜け出せない現状がある。
- ・スラムで生まれ育ち、幼くして両親が死亡し自分の年齢を知らない子供がいる。このような状況で働いている人々がつくる衣料、食料などが我々の生活をささえている。私たちがとりすぎているものを、戻す時期に来ている。
- ・どの家庭に生まれても、すべての子どもには幸せになる権利がある。これはすべての大人の責任である。ではその責任を果たすために、なにが足りないのか。知識か？情報か？それだけでは不十分である。おもいやりが必要である。本当に大切なのは何か？他者の痛み苦しみに対する想像力や共感力などの根底の精神性の上に知識や情報がのらなければいけない。
- ・子どもは大人の言葉でなく、生きる姿勢、精神性を見ている。大人の生きる背中、行動を見ている。ポイントとなるのは利他心や公共心である。人は人に与えることにより幸せになる。持ちすぎて幸せになることはない。
- ・社会は我々の思考でできている。したがって変えるべきは我々の思考・価値観である。政治家、官僚、大企業

などを悪者にしても世の中は変わらない。現代の日本人の多くは、無関心という病に罹っている。我々が安価で購入し、着ている服は誰がどのような状況で作っているのか関心を持とう。ただし過剰反応はだめである。ヒステリックは他者に完璧をもとめる。完璧を求める人からは仲間が離れてしまう。これでは社会変革が広がらない。また良い人になろうとしないことが大切である。良い人になろうとすると無理が生じ、自他にウソをつくことになる。このウソを取り繕うため、ウソはどんどん大きくなる。これまでさんざんネガティブな話をしてきたが、1000年単位でみると人類は確実に進歩している。したがって人類社会を全否定しないこと。自分が今できることを取り組むことが大切である。買い物の選択、徒歩移動の選択等、日々の小さな選択を変えていこう。ここにいる人は価値観や志が共通している。したがって志を共有できる同志を大切にし、協力しあおう。一人ですべてをしようとするな。また人間である以上だらしななところがあってもよい。この会場にいる人はえてして個性が強い。したがって性格の不一致はあるかもしれない。しかし同じ方向を見ている。仲良くして、協力しあって行動しよう。他者に自己の思考を押し付けるといった強要でなく共感が大切である。

(2) 感想

この講話を聞かせていただき、以下の感想をもった。

我々の日々の買い物は投票行動である。つまり我々一人一人が、価格の安さだけでなく、環境に配慮しているか、開発途上国とフェアなトレードをなしているか、我々の心身の健康に良いものかを基準に買い物をすることが大切であることを学んだ。それにより、製造販売業者も、消費者の多くが選ぶものを製造販売するようになる。このような日常の小さな行動の積み重ねで人類社会をよりよいものにするのだと思う。

また、自分の潜在能力を過少評価しないこと。かならず世界は変えられる。なぜなら世界は我々の思考が作り出しているから。利他心、志がことをなすためのポイントである。あとは、やるかやらないかだけである。各自がそれぞれの持ち場で、少しでも変化を起こす。それを続ける。たとえば、すれ違う人、目が合った人全員に微笑みかける。何が大切なことか、しっかりおちついて考えよう。本気で世のなかを変えたい。本当のことに気が付こう。本当のことを伝えよう。

2 「フーズフォーチルドレンへ向けて」 水野雅弘氏講話

- (1) 水野雅弘氏は、国連で合意した持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、SDGs に関する講演活動やアクションワークショップなどを積極的に展開されておられる。彼は今回のフォーラムの趣旨説明をされた。

彼の講話で特に感銘を受けたのは以下の点である。

蜜蜂が蜜を採取するために花に乗ると、蜜蜂の自重で花が開きおしべが飛び出る。蜜蜂は蜜を得、植物は受粉により繁殖地域を拡大する。このようにみつばちと植物は互いに助け合っている。また、花の良い香り、ビビッドな色、中心にむかって模様があるのも蜜蜂を呼ぶためである。

今、世界的に蜜蜂の個体数が急速の減少している。その理由は、農薬・温暖化にともなう気候変動などが考えられている。蜜蜂減少の速度は増しており、レッドライン（限界点）を越えつつある。すでに越えているかもしれない。蜜蜂が絶滅すると、植物は受粉ができなくなる。その影響は様々な生態系におよび、人類の存亡にかかわる。いかにして持続可能な発展可能性をみいだすか。そこで、SDGs、17の目標が制定された。人間らしく生きるためにはどうすればよいのか。地球環境に生かさせていただいていることを再認識しよう。本当の豊かさとは何か、持続可能な繁栄とは何か真剣に考えなければならない時期に来ている。このことはみんなで協力しとりくむ必要がある。

(2) 感想

この講話を聞かせていただき、以下の感想をもった。

化学物質過敏症の方等は絶滅しつつある蜜蜂と同様に、人類社会の在り方を再考する時期にきていると我々に教えてくれている。いじめや学級崩壊など問題を抱える学校の教室に入ると体調が悪くなる化学物質過敏症の教師がいる。この方は鋭敏な感覚で問題の本質を嗅ぎ取っておられる。個々の人間は孤立した存在ではなく、循環する大きな命の流れそのものである。例えば人間の排泄物は、大気、海、大地に還り、動植物を育て循環して再び我々の体内に取り込まれる。血流と同じく、一部が汚染されると、全体に広がってしまう。

地球に、人に、優しいもの、フェアなものを買うことが大切である。我々は地球の危機を救うことができる最後の世代になるかもしれない。すべての命が輝く未来のために、一人一人が優しい気持ちや愛情をもって生きることができる持続可能な循環社会を創ろうと覚悟を再確認した。

3 木村秋則氏と船橋康貴氏による基調対談

(1) 船橋康貴氏は、養蜂家である。一般社団法人ハニーファームを設立された。

木村秋則氏は高校卒業後、川崎市に集団就職するが、1年半で退職し、71年故郷に戻り、リンゴ栽培を中心とした農業に従事された。夫人が農薬過敏症であることを知り、76年頃から無農薬・無肥料栽培に挑戦を始めた。10年近く全くリンゴが実らない苦難の中で、山の土の威力を知り、ついに完全無農薬・無肥料のリンゴ栽培に成功された。

この基調対談で特に感銘を受けたのは以下の点である。

無農薬で自然の力を最大限引き出している木村氏の農園では、実がなる前から、リンゴの木自体から、実の香りがする。つまりリンゴが本来もつ生命力に満ち満ちている。また、木村氏の農園では、ツキノワグマ、たぬき、カモシカ、キツネ、アライグマが腹を上に向けて寝ている。つまり、心地よい安心できる場所ということを野生動物が感じ取っている。さらに蜜蜂も赤とんぼも木村氏の農園外に出ない。木村氏の農園敷地外の周辺農園に撒かれた農薬を嗅ぎ取り、それを避けるために、木村氏の農園上を巡回している。このような環境で作られている木村氏の敷地内の蜂蜜は糖度でギネス記録を超えたという。さらにまた、女王バチが産卵を始めるタイミングと農薬散布の時期が重なっている。つまり農薬散布時期を察知して、成体が絶滅する前に必死で命をつないでいる。また、琵琶湖の汚染が、北海道の不漁につながっている。このように昆虫や動植物たちは自然環境汚染を人間に警告している。ハチの巣と同様に八角形のハニカム構造であるサンゴ礁が大量死滅している。つまり海ではサンゴ礁が同様に警告を発している。自然は言葉を発せないが、必死で人間に訴えている。

(2) 感想

この対談を聞かせていただき、以下の感想をもった。

すべてはつながっている。人体における血流と同じである。血流が汚染されて人間が健康で生きられるはずがない。ではどうすればよいのか。中間領域の確立が大切であると考え。極端な経済主義は地球環境がもうもたない。極端な自然環境保護主義は膨張した人類を養うことができない。したがってお金の流れを変えることにより、穏やかに、社会変革を起こすべきである。言い換えると、愛情や思いやりをベースとした購買行動選択をすることが肝要である。誹謗・中傷・攻撃・反対からは何も生まない。不安、心配をベースに社会問題に対して無関心をきめこみ、働きとおす人もいる。良い心身の状態を維持しよう。また、選挙に行こう、投票で自分の意思を示そう。安全な食を推進すると、商品が売れることを生産者や流通販売者に市民一人一人が日々の購買行動でしめそう。また、安全な食を公約すると当選するということを政治家や立候補者が実感できるような社会になりつつあることを市民一人一人がしめそう。

4 『地球の未来と子どもたちの食について』 汐見稔幸氏 講演

- (1) 汐見稔幸氏は、ことばと人間形成を専門とする教育哲学者の一人である。東京大学 大学院教育学研究科教授、白梅学園大学教授・学長などを歴任された。

彼の講演で特に感銘を受けたのは以下の点である。

今、幼児教育の世界で何が課題になっているか。その前提の話として、人間は同時に二つの相対立するものを手に入れることはできない。たとえば楽をすること、と創意工夫能力を磨くことを同時に手にいれることはできない。情報通信技術や AI の発展により、人と人が出会い、直接コミュニケーションをとる必要性が低下している。この便利さと引き換えに失われつつあるものがある。

(2) 感想

この講話を聞かせていただき、以下の感想をもった。

いじめや切れやすい人、精神的に不安定な人が増加しているように感じる。体や神経の働きに変調をきたしているものと思われる。川崎の無差別殺人事件が起きた際、インターネット上では、「死ぬなら一人で死ね」

「頭のおかしい人は病院に閉じ込めておけ」などという意見が流れた。しかし、犯人の 51 年の人生に何があったのか、美しい魂をもって生まれてきたのに、なぜあそこまで追い詰められたのかを丹念に検証する必要がある。精神的に不安定な人が増えたこと、いじめ、学級崩壊などは、ミネラル不足の食事や建材からでる化学薬品の影響や生活習慣の影響を少なからず受けていると考える。

5 山本竜隆氏の講演

- (1) 山本竜隆氏は、自ら富士山の伏流水や薪での生活をしながら、地域医療とヘルスツーリズムの両輪で、地域活性化の実践、自然欠乏症候群の提唱などの活動をされておられる。

彼の講演で特に感銘を受けたのは以下の点である。

病気の主な原因は、病因と宿主（人）の問題、そして環境（どのような成育環境、どのようなコミュニティに生きているのか、食べているものは何か、住んでいる場所はどこか）である。したがって健康改善は個人の努力では限界がある。病因のひとつとして自然欠乏症候群がある。例えば、日の出日の入りを見たことのない子どもの増加や、鳥の死骸を見て「リセットできないのですか」という児童、子どもが蚊にさされただけで病院につれてくる父親が増加している。

(2) 感想

この講話を聞かせていただき、以下の感想をもった。

「下医は病気を治し、中医は人を治し、上医は社会を治す」という言葉がある。政治に携わるものとしてこの言葉の意味をしっかりと噛みしめたい。

6 大塚貢氏の講演

- (1) 大塚貢氏は、中学校校長を務め、荒れていた中学校を授業改革、米飯給食、花づくりで落ち着いたある活気に満ち溢れた学校に改善された。上田市教育委員長を経た後、教育・食育アドバイザーとして活躍されておられる

彼の講演で特に感銘を受けたのは以下の点である。

保存料、農薬の影響で、児童、生徒、学生の成人病予備軍が増加している。その原因は食生活の乱れである。この子ども達が成人してからがんなどを発症する。すると年金暮らしの年老いた親が中年になった我が子の看護をする必要がでてくる。これにより経済的にも心身的にも家族は崩壊してしまう。また、農薬散布地域の子どもと農薬非散布地域の子どもの描く絵を比較すると明らかな発達の差異が認められる。

さらにまた、2011年7月に出た学校給食のハンバーグを常温保存しておいても、まったく腐敗しない。なぜなら、亜硝酸ナトリウムを大量に使用しているからである。

(2) 感想

この講話を聞かせていただき、以下の感想をもった。

大塚氏が校長を務め始めた当初、学内をバイクで走る学生がいるほど、荒れた学校であった。生徒の不登校は約60名、複数の教師まで不登校になっていた。大塚氏は、指導でなく食の問題ではないかと、給食の改善に取り組み始めた。当初、子ども、親、議会まで反対した。しかしその反対を押し切り、大塚氏は、給食で、雑穀米や、頭や背骨まで丸ごとたべることができる煮魚、煮干し等を提供をした。これによりやがて学生たちは落ち着きを取り戻し、非行は改善された。この洞察力と行動力を見習いたい。また韓国ではほとんどの小、中学校で有機栽培の給食の提供が始まっている。増加分の差額は市が賄っているという。このこともさらに調査研究を深めたい。

7 前島由美氏の講演

- (1) 前島由美氏は、保育園や療育支援事業所に勤務したのち、発達障がい児の急増と苦しみの実態を知り、その原因の一つに現代食による栄養の偏りや農薬などの化学物質が影響を与えていることを学び、食生活の見直しを柱にした療育の実践を目指し、ゆめの森こども園を開園された。

彼女の講演で特に感銘を受けたのは以下の点である。

出雲給食センターでは、3時間の間に1万食をつくる。そのために水煮、化学調味料が使用されることにより、ミネラル、酵素不足となっている。このような食生活が脳内アレルギーの原因となり、うつ病、認知症など精神疾患を引き起こすと考えられる。食べた物があなたの肉体はもちろん精神状態までつくっている。真砂地区の吉田保育所では、限られた種類の旬の食材を創意工夫して様々な食感、味わいの給食を作りだしている。この給食により、アトピー、アレルギーなどが改善した。すべてはつながっている心身の不調、蜜蜂の減少、環境変動はつながっている。人の意識・価値観から変えよう。そして、産まれもって持っているきれいな魂を回復しよう。

自分の心身の状態を整え大切にする生き方をしよう。言葉ではなく、生き方背中で次に世代に人類のいくべき方向性を示そう。また残虐なゲームが子どもに与える悪影響も見逃すことができない。たとえば、荒野行動というオンラインゲームがある。他の参加者を殺戮し最後の1名になるまで続けるゲームがある。これをコミュニケーションの手段としている子ども達は、問題行動を起こし始める。この現状を親も教師もきちんと把握していない。

(2) 感想

この講話を聞かせていただき、以下の感想をもった。

地球環境が悪化していることは知っているが、自分は仕事が忙しい、生活に余裕がないと考えるかもしれない。地球環境なくして仕事も生活もない。グレッタ・エルンマン・トゥーンベリさんの環境問題に対する抗議行動や国連演説に対して、「抗議行動する時間があれば学校にいきなさい」「表現が過激すぎる」といった批判がある。しかし、そもそも何が大切か、命の大本かわからなくなっていると思う。

以上

【研修報告書別紙】

報告者 落合誠

□10月5日の詳細 第1回 ミツバチと食のフォーラム 前夜祭

【日時】2019年10月5日(土)

16:00~20:00

【場所】大妻女子大学 千代田キャンパス 大学校舎 A150 教室 及び アトリウム

【スケジュール】16:00 ~ 17:30 藤原ひろのぶ 講演「買い物は投票なんだ」

【藤原ひろのぶ氏プロフィール】出身地：大阪市 活動地域：大阪を拠点に全国各地

経歴：1980年 大阪府生まれ。大学卒業後、某通信会社に就職するが3年後に独立。社会のさまざまな問題に目を向ける中、“貧困”というテーマにたどりつく。ギニア、ネパール、バングラデシュで現地雇用を創出するための事業を展開。四児の父。現在の職業及び活動：特定非営利活動法人 NGO「GOODEARTH」代表。「病気を治そう!」「健康のすすめ」で健康情報や社会問題などを毎日わかりやすく発信。全国各地で積極的な講演活動を展開。2018年9月書籍「買い物は投票なんだ」を出版

【所見及び感想】フーズフォーチルドレン前夜祭では、大妻女子大学にて、藤原ひろのぶさんによる世界の自然環境やアフリカの子供たちの貧困についてと世界がつながりのあることと、SDGsについてなどの話がありました。中でも自身のアフリカでの体験では、ギニアやネパール、バングラデシュでの雇用の創出するための活動について報告があり、参加者自らが行動を起こすことが重要であり、自身が出版している買い物は投票なんだに記載のように誰でも簡単に始められることから行動を始めて、社会を変えていく事には私自身が活動していることを継続して、更に地球にやさしいことは何かを常に考えて行きたいと実感しました。更に大学にて置かれているもので自治体発行のものや選挙や政治に学生が関心を持つように工夫されていることが理解できました。

□10月6日の詳細 第1回 ミツバチと食のフォーラム

【日時】2019年10月6日 13:00~17:00

【場所】大妻女子大学 千代田キャンパス 本館 E055 教室(地下1階)

【スケジュール】13:00 ~ 13:15 「フーズフォーチルドレンへ向けて」(趣旨説明) 水野雅弘

13:15 ~ 14:15 木村秋則・船橋康貴 〈基調対談〉 「変わり者✖2=世界がhappy!」

14:45 ~ 16:30 〈トークセッション〉 司会：吉岡淳 水野雅弘

『地球の未来と子どもたちの食について』 汐見稔幸 大塚貢 山本竜隆・前島由美

16:30 ~ 17:00 「各地の取り組み」 前島由美 国光美佳

【所見及び感想】フーズフォーチルドレンキックオフ!第1回ミツバチと食のフォーラムと題して開催され、まず、趣旨説明がSDGsアドバイザーの水野雅弘さんからあり、SDGsと世界の現状などについて説明がありました。その後、養蜂家の船橋康貴さんと奇跡のリンゴ木村秋則さんの基調対談があり、お二人の出会いから無農薬でのリンゴ栽培、さらに、船橋さんのミツバチを木村さんの農園で養蜂したことなどのお話から虫やミツバチ等は、農薬などに敏感であり、木村さんの農園の端まで行くとUターンして帰って来るとのことでした。人間は、鈍感になってしまっていると感じましたし、自然環境やSDGsを考えると早急な対策と対応が必要と感じました。そして、3R活動も更に強化していく必要を痛感しました。次のテーマのトークセッションは、会場の熱気からか、気分が悪くなり、外で体調を整えていたため、詳細は、他の参加者に聞く形になってしまいましたが、有意義であり、また、すぐに行動することを感じました。

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			9
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	研修費	金 額	62,252円
内 容	「少子高齢社会の地域再生」フォーラム		
支 払 先	(公財)市川房枝記念会 女性と政治センター 等	支払年月日	令和1年 10月 18日
備 考	出席者負担金振込手数料152円含む		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
01-10-02		A93290003
取扱店		
払込口座		
払込金額	*18,000	料金 *152

口座番号	
振替金額	¥18,000
振替人	加西市議会 落合誠

振替受付票

払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。
料金には、消費税等が含まれています。
(ゆうちょ銀行)

入金額 *20,152
おつり *2,000

“あんしん” & “べんり” な
スマホ決済アプリ ゆうちょPay

印紙税申告納
付につき麹町
税務署承認済

領 収 証

No. 11

落合誠様

2019年10月2日

★ ¥18,000-

但 市川房枝政治参画フォーラム参加費 10/18.19
上記正に領収いたしました

内 訳 ② ¥1.6
税抜金額
消費税額等(%)

公益財団法人 市川房枝記念会女性と政治センター
東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館
電話 03 (3370) 0238 〒151-0053

出張調査届

令和元 年 10 月 11 日

市 議 会 議 長 様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

代表者 柗植 厚人



このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

落合 誠

調査都市名及び調査内容

「少子高齢社会の地域再生」フォーラム参加 (婦選会館 東京都渋谷区代々木2-21-11)
 10月18日(金) 13:30~17:00 講演「統計と政策ー統計リテラシーを高めよう」他
 10月19日(土) 10:00~15:15 基調講演「若者流入の首都圏は栄え、過疎地は消滅する、
 は本当か」他

出張期間 令和元年10月18日(金)~令和元年10月19日(土)(2日間)

旅 費 内 訳	目 当	円	経 路	
	()			
	宿 泊 料 (14,000円)	14,000 円	加古川駅	(JR)
			西明石駅	
	鉄 道 賃 (8,810円 ×2)	17,620 円	新大阪駅	(新幹線)
	急行料金 (6,240円 ×2)	12,480 円	品川駅	(JR)
	航 空 賃 ()	円	代々木駅	(徒歩)
	車 賃 ()	円	会 場	
	船 賃 ()	円	以下復路	
	出席者負担金 (18,000円)	18,000 円		
	そ の 他 ()	円		
	合 計	62,100 円		

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※往復割引適用後の運賃 9,790円×0.9=8,810円 (10円未満切捨て)



出張調査研修報告書

令和 元年 10月 25 日

市議会議長様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

出張者氏名 落合 誠



印

印

下記のとおり報告します。

日程 令和 元年 10月 18日 (金) ～ 10月 19日 (土)

視察先 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター
(東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館)

研修事項

「少子高齢社会の地域再生」フォーラム参加研修

復命事項 (所見及び感想)

講演「統計と政策=統計リテラシーを高めよう」他
基調講演「若者流入の首都圏は栄え、過疎地は消滅する、は本当か」他
詳細は別紙にて

出張に伴う経費の精算

前渡金額 62,100 円

精算額 62,252 円

62,100

過不足額 152 円



■参加費(出席者負担金)振込手数料を含みます。

【社会保障フォーラム「少子高齢社会の地域再生」研修報告書別紙】

報 告 者 落 合 誠

■研修日: 令和元年 10 月 18 日(金)~19 日(土)

■場所: 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター(東京都渋谷区代々木 2-21-11 婦選会館)

■復命事項(所見及び感想)

市川房枝政治参画フォーラム 2019 の研修に行かせていただきました。まず、10 月 18 日は、福祉環境常任委員会終了後に移動しての参加となり、統一と政策・統計のリテラシーを高めようからの参加となりました。

講師は、法政大学教授の上西充子さんで、資料に基づき説明があり、自身が行っていることなど国政での資料の取り扱い方や疑問に思う点、そして、自身が調査や研究する点などについて、わかりやすく説明していただきました。中でも印象的だったのは、アンケートなどによる資料の作成は、結果を決めてそちらの答えになるようなデータづくりがされる場合があるので、場合によっては、疑問の資料やデータ、特にアンケート等は、自身で確認することが重要であると感じました。

私自身も今後も引き続き、調査と研究をしていくようにしていきます。

翌日の 19 日は、「若者流入の首都圏は栄え、過疎地は消滅するは本当か」と題して日本総合研究所藻谷浩介さんから説明がありました。

まず始めに、思い込みについての確認があり、平成の初めと終わりの 30 年間のデータ確認がありました。

殺人事件は、約 1500 件から 900 件に。自殺者は、ピークの約 3 万人から 2 万人台に、と減っていますが、報道などから増えていると感じる人が多いです。

現在の少子高齢化とは、子どもが減って高齢者が増えていることが問題なののでしょうか？実は、労働人口が減っていることも問題であります。

この事から、子どもを増やすこと、つまり生まれてくる子どもの数が重要であり、地方では、首都圏に若者が流出することの抑制と出生率のアップ、つまり、子育て支援策が重要であることを再認識しました。

島根県は、高度成長期に若者をだしてしまい、もう年寄のなり手が少なく、医療や福祉の負担は、減り始めているようで、学ぶべきことが多いと思われます。

加古川でも地域に根差した地元企業に就職する若者を増やして、更なる子育て支援を行うことで出生率を高めることを最優先にしていけないといけないと痛感しました。

それから、先進的な例として高知県の大川村という人口 400 人の村が紹介されました。

現在は、肉の産業が伸びており、子育て世代が引っ越してくるなどで 0 才から 4 才まで人口が増えているとのことでした。

次に「参議院選挙後の日本政治、民主主義のゆくえ」と題して宇野重規東京大学社会科学研究所教授から説明がありました。

特に印象的だったのは、今の若者は、共産党が保守系で、革新が自民党や維新の会と答える人が多いそうです。

これからの政治は、いろんな人が議論する場が必要であり、みんなのわがままや気になることを発言し、議論をすることが必要であると再認識しました。

加古川でも議会が一般の市民が議論することができる場を提供することが必要と考えます。

以上

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				10
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	広報費	金 額	17,270円	
内 容	長3封筒1000枚印刷			
支 払 先	有限会社井上文尚堂	支払年月日	令和1年 10月 21日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

領 収 証

No.

令和元年10月2日

お世話の天領と来と創る会と様

金 額	千	百	十	万	千	百	十	円
			7	1	7	2	3	0

収 入
印 紙

但し ふうじ印刷代
上記の金額有難く領収いたしました

現 金	
小 切 手	
約束手形	
相 殺	

印章・デザイン・印刷・看板

有限 井上文尚堂 会社

〒675-0066 加古川市加古川町寺家町13-2
TEL (079) 421-2603
FAX (079) 421-2604



取扱者印



令和1年10月10日

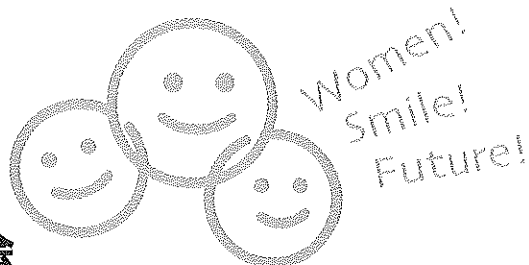
加古川市加古川町寺家町13-2

FAX: 079-421-2604

No.	品名及び仕様	数量	単価	金 額
	長3封筒 印刷			
1	封筒:パステルピンク	1000枚		15,700
	刷り色:墨1色			
	差し込み口:テープスチック付き			
	小 計			15,700
	消費税	10%		1,570
	合 計			¥17,270

料金別納郵便

--	--	--	--	--	--	--



加古川市議会

女性の笑顔で未来を創る会と維新

〒675-8501

加古川市加古川町北在家2000 加古川市議会内

tel. 079-427-9303 fax. 079-424-9043

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				//
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	広報費	金 額	81,136円	
内 容	会派市政報告書50000部印刷代 Vol.3.			
支 払 先	ラクスル株式会社	支払年月日	令和1年 12月 19日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

領収書



日付: 2019年12月19日
領収書番号: R-1912184410

女性の笑顔で未来を創る会と維
新御中

ラクスル株式会社



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: XXXXXXXXXX

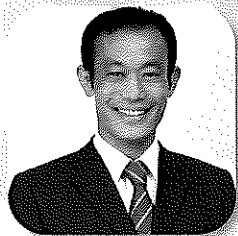
¥81,136-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1912184410-01	(13 : 162019年12月議会) チラシ・フライヤー,A4,両面力 ラー,光沢紙(コート),標準 : 90kg	50,000部	受付日確定後 5日以内	¥73,980
注文内容:		商品:		¥73,980
注文合計:				¥73,980
キャンペーン値引き:				¥-220
消費税:				¥7,376
ご請求合計金額:				¥81,136
お支払い方法:				コンビニ支払い

2019年12月一般質問

柘植 厚人
(つげ あつひと)



【学校外の多様な学びについて】

まず、学校関係者と学校外の多様な学びの場との意見交換会等の開催を求め、
▼本市の不登校児童生徒が通うフリースクールや民間施設との情報交換の場を充実させてまいりたいと考えておりますとの回答をいただきました。次に学校外の多様な学び等に関する情報提供について求めたところ、▼本市の不登校児童生徒が通うフリースクールや民間施設に関する情報について効果的な提供ができるよう検討してまいりますとの回答をいただきました。

【6次産業活性化について】6次産業活性化のための新商品開発補助金制度を求めたところ、
▼農業者との対話を通じて6次産業化に対する国や県の補助制度を活用するとともに、市としての支援のあり方について検討してまいりますとの回答をいただきました。

その他、6次産業活性化のためのマッチングイベントやセミナーの開催を求めるとともに、6次産業活性化に精通したコーディネーターによる相談対応、企業連携促進支援を求めました。

鋳木 良子
(つばき よしこ)



【太陽光発電施設設置の規制強化について】太陽光パネルが業者から近隣の方々への説明が

なく、設置されました。今後も再生エネルギーの考えが進むにつれて、景観や自然環境の阻害、近隣住民のトラブルの発生など、このような事案がおこることが考えられる事から、規制を強める事、また届け出の対象は、相談を受けたケースでは該当しない事について、加古川市独自で事業区域面積を小さくする等の設置が必要ではないかを伺いました。▼土地所有者の財産権の問題もあるので、立地規制を強める必要性については慎重に検討する。また、本市独自の新たな取組については、十分な精査が必要であり他都市の事例を参考に検討していくとの事でした。

【有機農業の推進について】私たちの身体は食べたもので作られています。今、子供たちの現状、地球環境も含め見つけなおす時期が来ています。安心安全な有機農業を広げ、確実な販路を作っていく事が大事であり、そこで、有機農業や自然農家さんと提携し、保育園給食に繋げる仕組みづくりを要望させて頂きました。▼有機農産物については現在生産量が非常に少ない為、安定的な供給が見込めない。現時点での給食の導入は極めて困難であるとのご答弁でした。次回また新たに・・・

落合 誠
(おちあい まこと)



【子どもの貧困の連鎖をなくす取り組みについて】加古川市の今後の支援について確認しました。

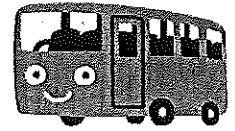
特に「子どもの貧困対策の計画」を策定することは、様々な制度や政策を実施するうえで重要であり、まず、計画策定について質したのに対して、県の計画策定を参考にして策定するとの事でした。次に平成28年に加古川市の貧困家庭の現状を把握する調査を要望し、アンケートを実施することで、必要と思われる支援の一つとしての子ども食堂の支援策について確認しました。▼子ども食堂の認知度をアップさせて、市民に知って頂く施策と、今後、社会福祉協議会と連携して、まず、子ども食堂運営者同士の連絡会議を立ち上げて、今後の支援をより有効的に行っていくとの答弁でした。次に【ひとり親家庭等の子育て支援について様々な支援方法について】確認し、特に、住環境の確保について「市営住宅などの優先入居制度の確立」を質しました。▼今後、市では、若年層向け入居制度の導入を検討してもらう事になりました。最後に、子育て支援や子どもに関係する事業や制度は、当事者が時間経過で年齢が対象外になるまえに、早急に実施するよう強く要望しました。

令和2年度予算要望のうち 主なもの

● コミュニティバスの自動運転化の研究促進

バス運転手不足、高齢化の流れはこれからも進むと考える。

また路線の維持拡充の観点から、公共交通の最大のコストである人件費を自動運転により解消する研究を促進することを求める。



● 就職氷河期世代に対する職業訓練等支援策の充実

就職氷河期世代が社会に復帰して力強く自分の人生を歩めるように職業訓練等支援策の充実を求める。

● 女性議会の開催

中学生議会のように女性から理事者に対して一般質問をする議会を開催することを求める。

● 女性育成塾の実施

女性が市議会や審議会で活躍できるように市政等を勉強する育成塾を開催することを求める。

● 町内会等女性役員比率アップ補助金制度の設立

女性が地域や団体、職場などで活躍する事は、大変重要な事であり、町内会や自治会、市の審議会や議会などの公的な場で重要な内容を判断する時に女性が関わる割合を増やしていくべきと考える。

● ウィッグ代等補助金

がんは、治る病気になりつつあり、いつまでも綺麗でいたい女性心理と、おしゃれを意識することで病気への抵抗力を促進し、医療費の抑制と患者の負担を軽減することを求める。

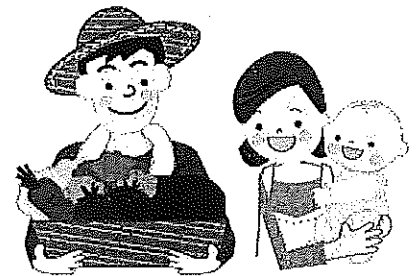


● 不登校児童対策

クラスに入れない、登校してもすぐ帰る生徒を含めた実態を把握し、市教育委員会として現状対応できる予算措置と、兵庫県教育委員会が策定するガイドランを指針とし、義務教育と認められていない学校以外の施設と、どのように連携したら児童生徒が教育を受ける機会を確保できるのか指し示すことを求める。

● 環境創造型農業の推進

県が推進している環境創造型農業や有機農業であるが、本市においても遊休農地の有効活用など、有機農産物の新たな流通実態の理解やオーガニックの食を通じた農産物の魅力を深めるために推進体制を強化することを求める。



議案第64号「加古川市医療費の助成に関する条例」の一部改正

子ども医療費助成で以下の態度表明をして賛成しました。私たちの会派では、設立当初より市民の子ども医療費の負担軽減への積極的な取り組みを要望しており、高校生までの入院費無料化を求めています。小中学までは、発育期間のため、通院費・入院費共にも無料化は、子育て世代の支援策として当然と認識しております。高校生の家庭については、急な入院による個人負担増をなくすことは、非常に重要と考えており、今回の所得制限をなくすことは、当会派の要望している高校生までの子ども医療費無料化への一歩と認識しており、今後も継続的に要望していきます。

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				12
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	資料作成費	金 額	3,230円	
内 容	コピー代10/2分			
支 払 先	加古川市	支払年月日	令和1年 10月 2日	
備 考	教育委員会 フリースクールについての資料			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

即 納 書

納入義務者		番号 104	
氏 名 落合 誠	様	年度 1	
(款) 20 諸収入	(項) 07 雑 入		
(目) 03 雑 入	(節) 07 雑 入		
(事業) 公文書等写し交付収入			
納 付 金 の 内 容	白黒323枚		43230円
	カラー 枚		
延 滞 金			
合 計 金 額			43230
上記の金額を領収しました。 令和 元 年 10 月 2 日 加古川市会計管理者 (取扱者) 加古川市総務課文書統計係長 森位 耕三			
			
所管課 総務課			

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				13
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	資料作成費	金 額	14円	
内 容	コピー代(9月分)			
支 払 先	株式会社六甲商会	支払年月日	令和1年 10月 30日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

領 収 証

領収証No 20191029305389985

令和元年 10 月 30 日

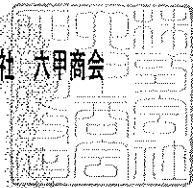
下記の通り正に領収致しました。

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

金額	¥14
----	-----

9月分コピー代

株式会社 六甲商会



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				14
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	資料作成費	金 額	33円	
内 容	コピー代(10月分)			
支 払 先	株式会社六甲商会	支払年月日	令和1年 11月 18日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

領 収 証

領収証No. 20191115308526171

令和元年 11 月 18 日

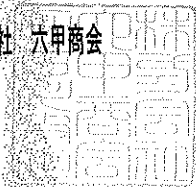
下記の通り正に領収致しました。

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

株式会社 六甲商会

金 額	¥33
-----	-----

10月分 コピー代



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				15
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	資料作成費	金 額	1,500円	
内 容	コピー代(12/2分)			
支 払 先	加古川市	支払年月日	令和1年 12月 2日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

領 収 書

納入義務者 ^{加古川市議会}
氏名 ^{女性の笑顔で未来を} 創生会と組新
番号 1211
年度 1

(款) 20 諸収入 (項) 07 雑入
(目) 03 雑入 (節) 01 刊行物等頒布収入

(事業) 都市計画図頒布代金

納付金の内容	金額(円)				
	都市計画図等			1	500
延滞金					
合計金額			2	1500	

上記の金額を領収しました。
1 年 / 2 月 2 日
加古川市会計管理者
(取扱者) 加古川市都市計画課長 印
所管課 都市計画課



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				16
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	資料作成費	金 額	254円	
内 容	コピー代(11月分)			
支 払 先	株式会社六甲商会	支払年月日	令和1年 12月 25日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

領 収 証

領収証No. 20191217313104459

令和元年 12 月 25 日

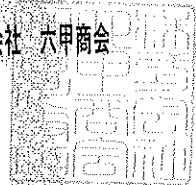
下記の通り正に領収致しました。

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

株式会社 六甲商会

金 額	¥254
-----	------

11月分コピー代



		代 表 者		経理責任者	
					

支 払 伝 票				経理番号	
				7	
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度		
項 目	資料購入費	金 額	29,484円		
内 容	D-file(2019年10月～2020年3月)購入のため (Beacon 8号、番号含む)				
支 払 先	イマジン出版株式会社	支払年月日	令和1年 10月 2日		
備 考					
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）					

ご利用明細票

お取扱目	店番	取扱番号
01-10-02		A93290002
取扱店		
払込口座		
払込金額	*29,484	料金 *0
口座番号 イマジン出版株式会社 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 代表取締役 佐藤 隆 入金 印 振替受付票 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行)		
入金額	*30,000	
おつり	*516	
"あんしん" & "べんり" な スマホ決済アプリ ゆうちょ Pay		

印紙税申告納
 付につき趣町
 税務署承認済

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

下記の通り納品致します。

¥29,484

イマジン出版株式会社
 代表取締役 幸三
 〒112-0013 東京都文京区
 2520
 2623

行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2019年10月発行号 上・下	2	2,430	4,860
2	D-file 2019年11月発行号 上・下	2	2,430	4,860
3	D-file 2019年12月発行号 上・下	2	2,430	4,860
4	D-file 2020年1月発行号 上・下	2	2,430	4,860
5	D-file 2020年2月発行号 合本	1	3,024	3,024
6	D-file 2020年3月発行号 上・下	2	2,430	4,860
7	Beacon Vol.80(冬号),Vol.81(春号)	2	1,080	2,160
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要	合計	13		29,484

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

下記の通り御請求申し上げます。

¥29,484

イマジン出版株式会社
 代表取締役 幸三
 〒112-0013 東京都文京区
 2520
 FAX 03-3942-2623

行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2019年10月発行号 上・下	2	2,430	4,860
2	D-file 2019年11月発行号 上・下	2	2,430	4,860
3	D-file 2019年12月発行号 上・下	2	2,430	4,860
4	D-file 2020年1月発行号 上・下	2	2,430	4,860
5	D-file 2020年2月発行号 合本	1	3,024	3,024
6	D-file 2020年3月発行号 上・下	2	2,430	4,860
7	Beacon Vol.80(冬号),Vol.81(春号)	2	1,080	2,160
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要	合計	13		29,484

振込口座 銀行 支店

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				18
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	資料購入費	金 額	1,320円	
内 容	「地域から変える女性たちが変える」書籍代			
支 払 先	(公財)市川房枝記念会女性と政治セ ンター	支払年月日	令和1年 10月 19日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

領 収 証

No. 34

2019 年 10 月 19 日

岩合 誠 様

★ ￥1,320-

但し 地域から受える 女性に与える財

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

公益法人 市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館

電話 03 (3370) 0 2 3 8 〒151-0053

男女共同参画社会をめざして

地域から変える

女性たちが変える

北海道

秋田県

山形県

福島県

群馬県

長野県

富山県

愛知県

兵庫県

鳥取県

広島県

香川県

福岡県

沖縄県

財団法人 市川房枝記念会

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号	
				19	
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度		
項 目	備品消耗品費	金 額	1,533円		
内 容	コピー用紙購入費				
支 払 先	株式会社ナフコ	支払年月日	令和1年 11月 11日		
備 考					
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）					

女性美容雑誌 領収証
創刊号と新刊号

NO:0703416
2019年11月11日

¥1,533- (全額現金支払)
(入金分消費税等 139円を含む)

但し、お買上レシートNo.007-16350 品代
(コピー用紙代として)

担当

お買上店舗
ナフコ南加古川店 TEL:079-456-6301
株式会社ナフコ
本社：福岡県北九州市小倉北区魚町2-6-10

お買い上明細

ホームプラザナフコ 南加古川店
2019年11月11日 08:12
担当: [REDACTED]

21 国産高白色コピー用紙 A4
20973131 ¥1,533

合計 ¥1,533
10%対象お買上額 ¥1,533
(10%内消費税額 ¥139)

*マークは、広告商品です。

ご返品の際は領収証をあわせて、
お持ち下さい。

代 表 者	經理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			20
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	備品消耗品費	金 額	6,790円
内 容	プリンターインク代		
支 払 先	株式会社エディオン	支払年月日	令和1年 11月 18日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

EDION
エディオン

2019年11月18日

領 収 証

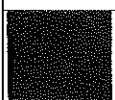
女性の笑顔と未来を創る会と糸巻新 様

金 額 ￥6,790 -

但し プリンタ消耗品 BCI-381+380/6MP

消費税等617円含んでおります

発行者



株式会社 エディオン
(作成地)
大阪府大阪市北区中之島二丁目
3番33号

No.303593189
発行店 ニッケパークタウン店
電話番号 079-456-8008

金種	内訳
現金	6,790
クレジット	0
ギフト券等	0
ポイント	0
振込	0

10%対象 ￥6,790
10%対象消費税 ￥617



お買上明細書

発行日 2019年11月18日(月) 17:20
店: 10269 ニッケパークタウン店

電話 079-456-8008

担当者:

No. 10269-303-593189

POS: 303

取引種別: 持帰

プリンタ消耗品

キヤノン

BCI-381+3806MP

4549292100044

1

¥6,790

合計金額

¥6,790

(10%対象

¥6,790)

(10%対象消費税

¥617)

現金領収額

¥6,790

お預り

¥10,000

お釣り

¥3,210

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号	
				2 /	
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度		
項 目	備品消耗品費	金 額	28,892円		
内 容	プリンターインク代				
支 払 先	株式会社フジャ號	支払年月日	令和1年 11月 26日		
備 考					
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）					

請求書

伝票日付

伝票番号

2019年11月26日

1900015330

57-48

〒

兵庫県.

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

株式会社フジヤ
営業本部
〒 675-0081
兵庫県加古川市加古川
代表取締役 山本亜也

TEL 079-424-2485

FAX 079-421-5188

(通貨: JPY)

商品コード 商品名	規格	数量 単価	単位 金額	備考
Z160019999		3.00	個	
トナーカートリッジ 331Y,M,C 各1		7,106.00	21,318	
Z160019999		1.00	個	
トナーカートリッジ 331IB		7,574.00	7,574	
			合 計	税 込
			28,892	総 額
				28,892

摘要:

振込先: 銀行 支店

か)フジヤ

領 収 証

NO 132740

女性の笑顔で未来を創る会
と維新 様

2019年11月26日

領収金額

728892

収 入

印 紙

上記の金額正に領収いたしました。
但し インク代

STATIONERY & OA

株式会社フジヤ

代表取締役 山本亜也

内 訳			
現金	0	振込	
小切手		相殺	
手形		消費税	

□営業本部 加古川市加古川町北 2055 番地
☎079-424-2485(代) FAX079-421-5188
□技術部 加古川市加古川町北 在家 2055 番地
☎079-424-2484(代) FAX079-425-8234
□ステフォレ 加古川市加古川町北 在家 793-1
☎079-451-1155 FAX079-451-1177
□東京支店 東京都台東区花川戸 1-10-13 元大ビルディング5階
☎03-5246-6862 FAX03-3847-2258
□auショップ 加古川市加古川町 篠原町 183-1
加古川駅西 ☎079-456-2565 FAX079-456-2566

係 印

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			2 2
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	備品消耗品費	金 額	5,698円
内 容	プリンターインク代		
支 払 先	株式会社ナフコ	支払年月日	令和1年 11月 19日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			



領収証

加古川店
ホームプラザナフコ 加古川店

TEL:079-456-1271

～営業時間のお知らせ～

早朝8時から夜20時まで

年内休まず営業致します！

2019年11月19日 13:29

担: 002-69477

21 キヤノン 純正インク 381
20739010 ¥5,698

合計	¥5,698
10%対象お買上額	¥5,698
(10%内消費税額	¥518)
現金	¥5,698
お預り	¥6,000
お釣り	¥302